

参考リンク

【環境保全行動計画・自動車使用管理計画について】

● 保全行動のページ

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jyorei/



● 様式のページ

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/todokede/ems_jyorei.html



● 公表のページ

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jyorei/shukei03.html



● 札幌市例規集：札幌市生活環境の確保に関する条例

https://www.city.sapporo.jp/ncms/reiki/d1w_reiki/H414901010005/H414901010005_m.html



● 作成マニュアル

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jyorei/documents/manual.pdf



● Q&A

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jyorei/documents/qanda.pdf



【補助金などの事業者向け支援を知りたい】

● 事業者向け省エネルギーに関する支援制度の紹介

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jigyosha/jigyosya_kakushu_seido_shokai.html



【省エネの具体的な対策や事例を知りたい】

- 環境省：中小規模事業者のための脱炭素経営ハンドブック
中小企業における中長期的な削減計画の検討の進め方や、モデル事業で得られた知見を紹介。

https://www.env.go.jp/earth/SMEs_handbook.pdf



- 一般財団法人省エネルギーセンター：
省エネ診断事例
保全行動のページ
省エネ診断の実績から、業種別・設備別など事例を検索できる。

<https://www.shindan-net.jp/case/>



札幌市環境局環境都市推進部環境エネルギー課
☎ 011-211-2872 ✉ kan.energy@city.sapporo.jp

2023年3月

札幌市内の事業者様へ

札幌市生活環境の確保に関する条例

環境保全行動計画 自動車使用管理計画

作成の手引き

目次

制度の概要…………… 1

市内事業者の取組事例…………… 3

札幌市の計画・目標…………… 5

対象となる事業者は
毎年7月末日までの提出が必要です



対象となる事業者

環境保全行動計画

【次のいずれかに該当する事業者】

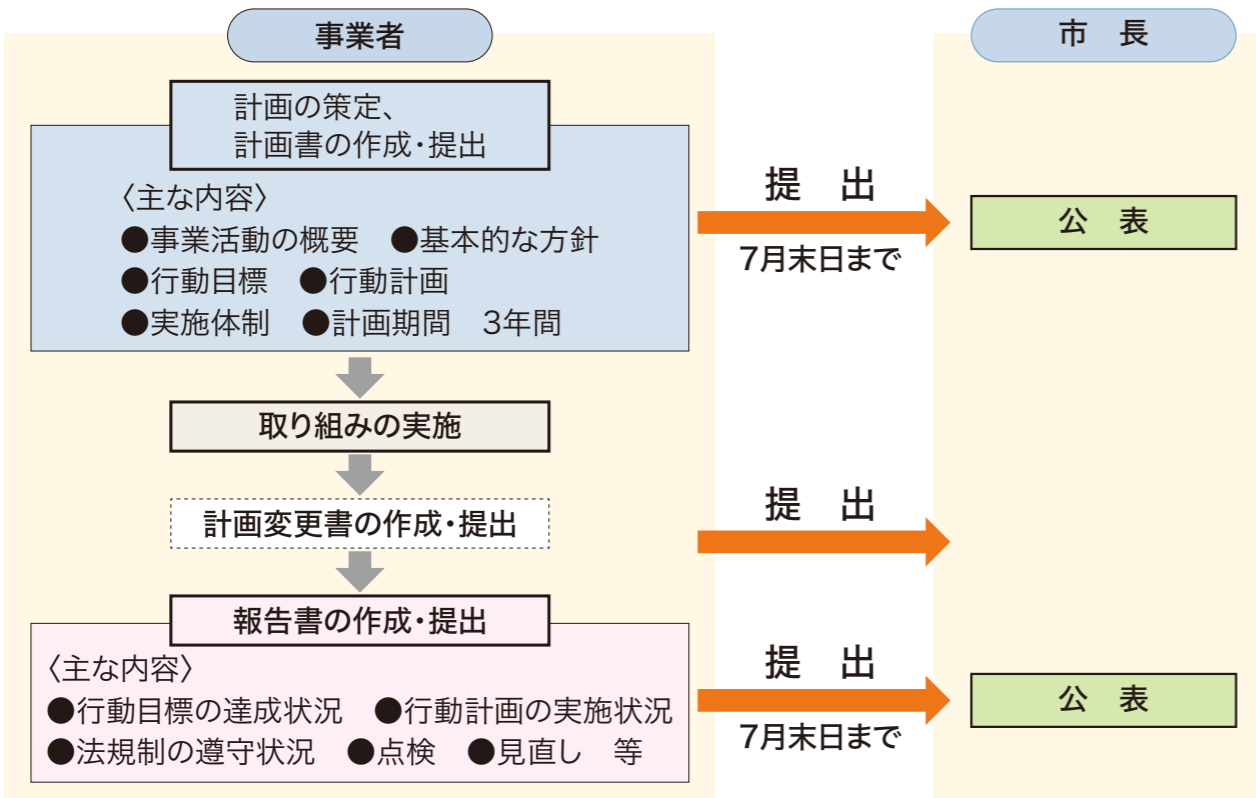
- 4月1日現在、常時使用する従業員数が100人以上、かつ事業所として使用している建築物の床面積の合計が5,000㎡以上(連鎖化事業者(フランチャイズチェーン)を含む)
- 燃料・熱・電気の年度の使用量が原油換算で1,500KL以上(連鎖化事業者(フランチャイズチェーン)を含む)
- 常時使用する従業員数が21人以上、かつ、温室効果ガス(非エネルギー起源CO₂、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素)の種類ごとの排出量が二酸化炭素換算で3,000トン以上

自動車使用管理計画

- 事業の用に供するために使用する自動車が50台以上である事業者(二輪自動車、被けん引自動車、1年未満の借り受けによる自動車、商品として展示している自動車、不特定多数の者が短期間使用する自動車は除く。)

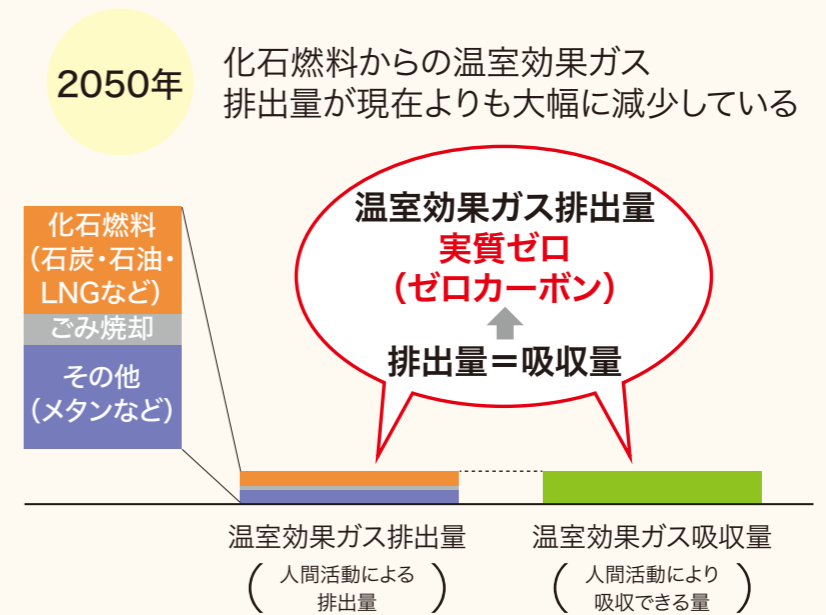
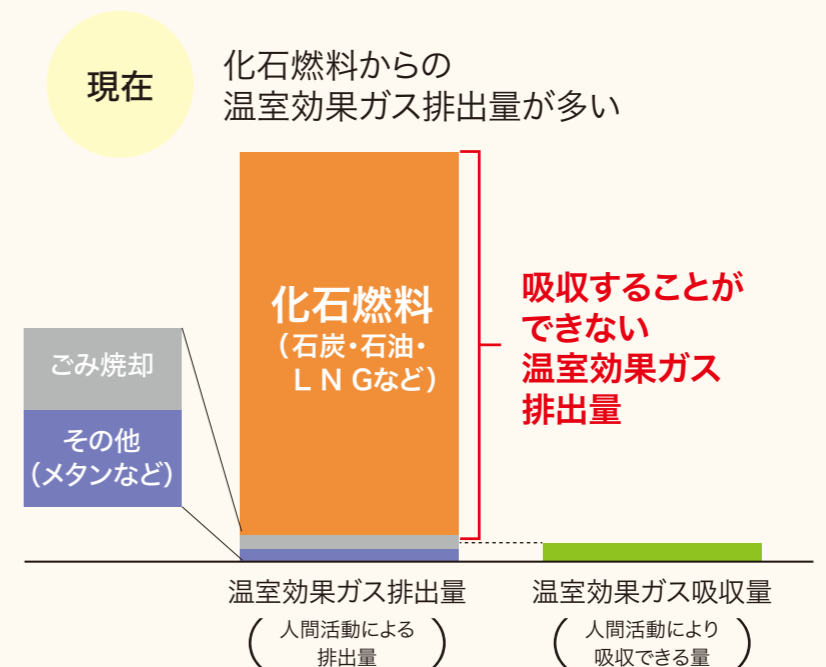
※上記に該当しない事業者の方も自主的な取組として、任意に提出することができます。

手続きの流れ



2050年のゼロカーボンにむけて、2030年の温室効果ガスの目標削減量や成果指標といった客観的な数値目標を掲げています。

事業者のみなさまの協力が不可欠です。



心豊かにいつまでも安心して暮らせるゼロカーボン 環境首都SAPPORO



提出書類

計画

(様式1) 環境保全行動・自動車使用管理計画提出書

- ・(別添) 環境保全行動・自動車使用管理計画書
- ・(別紙1) 燃料等使用量原油換算シート
- ・(別紙2) 二酸化炭素排出量計算シート
- ・(別紙3) 設備概要報告シート

・計画期間の初年度の7月末日まで
・3年目の報告年度の7月末日まで

(ISO14001、エコアクション21、グリーン経営、北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)、エコステージの認証取得事業者は、認証登録証の写しを添付)

報告

- ・(様式2) 環境保全行動
- ・自動車使用管理実施報告提出書
- ・(別添) 環境保全行動・自動車使用管理実施報告書
- ・(別紙1) 燃料等使用量原油換算シート
- ・(別紙2) 二酸化炭素排出量計算シート

・報告年度の7月末日まで

計画書・報告書の提出時期(例)

事項	n-1年度	n年度	n+1年度	n+2年度	n+3年度	n+4年度	..
取り組みの実施	← 継続実施 →						
計画書の提出		計画書の提出 7月末日まで	3年計画			計画書の提出 7月末日まで	3年計画
報告書の提出		計画書の提出 7月末日まで	計画書の提出 7月末日まで	計画書の提出 7月末日まで	計画書の提出 7月末日まで	計画書の提出 7月末日まで	

提出先

提出にあたっては、下記宛先までメール(推奨)又は郵便、FAXで送付してください。

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階
環境局 環境都市推進部 環境エネルギー課

☎011-211-2872 📠011-218-5108 ✉kan.energy@city.sapporo.jp

株式会社北洋銀行

シェア等使用方法効率化による車両台数の削減

北洋銀行では、温室効果ガス排出量・経費削減を目的として、営業用車両の削減に取り組んでいます。

北洋銀行で使用する車両は、ピーク時(2018年7月)には1,000台あり、店舗再編等により緩やかに減少していたものの、過剰な状態を解消するために、更なる削減を進める必要がありました。

そのため、2020年10月からの半年間で車両台数を10ポイント削減することを目標に定め、2店舗の各5台の車両において稼働状況をサンプリングし、2か月間の計測を行いました。その結果、稼働の平均は3.4~3.9台となり最適台数は4台、全体では18%の車両を削減することが可能であるということがわかりました。


サンプリングの結果を踏まえ、新たに配車基準を策定し、各営業店の車両台数を決定しました。その台数内において予約制とし、店舗内でのシェアに取り組んでいます。

2023年2月末現在の車両台数は798台。ピーク対比、車両台数は202台減少、リース料は年間50百万円の削減となりました。このほか、駐車場代も削減され大きな成果に繋がっています。

当初は慣れないやり繰りに苦労していたようでしたが、シェアに対する意識が向上し、自発的に車両返却を申し出る営業店が多くなりました。

今後は、民間のカーシェア導入・ガソリン車のHVへの入替・EV導入検討を進め、更なる対策を進めて参ります。



 **北洋銀行** 〒060-8661 札幌市中央区大通西3丁目7番地
株式会社北洋銀行 経営企画部・総務グループ

NTTコミュニケーションズ株式会社

再生可能エネルギーの導入と省電力施策によるCO₂排出量の削減

NTTコミュニケーションズでは、2020年4月に札幌市中央区の大通ビルでNTTグループ初の再生可能エネルギー100%(非化石証書活用による実質再エネを含む)を実現したのを皮切りに、再生可能エネルギーの導入を積極的に進めており、2030年には自社における電力使用分を含むScope1、Scope2のカーボンニュートラルを目指しています。

NTTコミュニケーションズでは、自社の事業活動におけるCO₂排出の9割以上が電力の使用によるものとなっています。

そのため、再生可能エネルギーの導入とともに、使用する電力の削減を地球温暖化対策の重要な取り組みの1つとして、様々な取り組みを行っています。

特に発熱量の多いIT機器を収容するサーバールームでは「温度状態の見える化」により冷やし過ぎ箇所を検知し、自動的に「空調制御」を実施する「Smart Dash®」やラック列間の通路を壁や屋根で覆い、IT装置への吸気(低温)と排気(高温)を物理的に分離して効率的な空調環境を実現する「アイルキャッピング」を設置し、省電力化に努めています。

NTTコミュニケーションズでは、グループ会社と連携して、今後も更なる電力削減策を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入を積極的に実施し、2030年のカーボンニュートラル、地球温暖化対策への一層の貢献を進めていきます。

※再生可能エネルギー導入・省電力施策は、2020年度~2022年度の実績(一部見込みを含む)により記載しています。

〒100-8019 東京都千代田区大手町2-3-1
NTTコミュニケーションズ株式会社
ヒューマンリソース部CSR・環境保護推進室



NTTコム札幌大通4丁目ビル

北海道エネルギー株式会社

北海道のライフラインと暮らしをつなぐ灯油

~配送の効率化で排気ガスの排出削減と燃料コスト削減の一石二鳥~

北海道エネルギー株式会社では、配送車にかかる排気ガスの排出削減とコスト削減のため、1件あたりの一度の給油数量を増やし、配送回数を減らす取組を行っています。

北海道の冬場に欠かすことのできない灯油を、全道15カ所の拠点から、年間約105,000,000ℓお客様のホームタンクに配送しています。(2022年実績)

配送回数が少なくなることで、走行距離が減り、温室効果ガス排出量の削減が可能となります。

総合エネルギー企業として歩を進める当社社員一人一人が、地球環境問題の当事者と考え、環境負荷の軽減を心がけています。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、常にエネルギーの動向を注視し、環境への思いやり持つことを忘れません。

北海道エネルギー株式会社では、北海道に住む全ての人々の生活を守り、同時に地球環境にも配慮してまいります。



もっとやさしく、もっと明日へ。  **北海道エネルギー** 〒060-0031 札幌市中央区北1条東3丁目3番地
北海道エネルギー株式会社

column

エネルギー管理に大事な3つの要素

エネルギー管理を行う上での基本的な手順として「①管理」「②計測・記録」「③保守・点検」があります。省エネ法の判断基準にも記載されており、施設の管理をする方は、あたり前のこととして、日々の業務で実施されていると思います。

しかし、これだけでは「現状より悪くしない」ことは出来ますが、一歩進んだ「省エネルギー」を行うためには、やや難易度があがり、技術的知識が必要になってきます。

省エネルギーを考えるときに重要なヒントになるのは「②計測・記録」の結果です。日々、コツコツと記録した記録の分析は、最適な手法を導きだす手がかりになります。

今回、本ページでご紹介した事例は、課題(車両台数を減らす、適切な温度管理等)を解決するために「②計測・記録」を行って、改善に繋がった例でした。

基本的なものであり最も重要、これさえしておけば十分だとも言われています。簡単に思える3つの要素ですが、ゆえに侮られやすく、きちんと行われていない場合もあるかもしれませんので徹底しましょう!

- 【①管理】…妥当なルールの作成・運用
- 【②計測・記録】…結果、傾向の把握、見える化の徹底
- 【③保守・点検】…実作業の正しい理解

